

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 3 月 4 日 (2021.3.4)

【公開番号】特開 2020-109173 (P2020-109173A)

【公開日】令和 2 年 7 月 16 日 (2020.7.16)

【年通号数】公開・登録公報 2020-028

【出願番号】特願 2020-21361 (P2020-21361)

【国際特許分類】

C 0 9 J 201/00 (2006.01)

C 0 9 J 4/02 (2006.01)

C 0 9 J 9/02 (2006.01)

C 0 9 J 11/04 (2006.01)

C 0 9 J 11/06 (2006.01)

C 0 9 J 7/10 (2018.01)

H 0 1 L 21/60 (2006.01)

H 0 1 B 1/22 (2006.01)

H 0 1 B 5/16 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 201/00

C 0 9 J 4/02

C 0 9 J 9/02

C 0 9 J 11/04

C 0 9 J 11/06

C 0 9 J 7/10

H 0 1 L 21/60 3 1 1 S

H 0 1 B 1/22 B

H 0 1 B 1/22 D

H 0 1 B 5/16

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 1 月 19 日 (2021.1.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

( a ) 熱可塑性樹脂、

( b ) ラジカル重合性化合物、

( c ) ラジカル重合開始剤、

( d ) 分子内に 6 個以上のチオール基を有するチオール化合物、

( e ) 導電性粒子、

シランカップリング剤、及び絶縁性の有機又は無機微粒子を含有し、

前記 ( a ) 熱可塑性樹脂が、フェノキシ樹脂及びポリウレタン樹脂を含み、

前記 ( b ) ラジカル重合性化合物が、リン酸基を有するラジカル重合性化合物及び単官能 ( メタ ) アクリレート化合物 ( ただし、リン酸基を有するラジカル重合性化合物を除く ) を含む、接着剤組成物。

【請求項 2】

前記チオール基の少なくとも１個が１級チオール基である、請求項１に記載の接着剤組成物。

【請求項３】

前記チオール化合物の含有量が、前記（ａ）熱可塑性樹脂及び（ｂ）ラジカル重合性化合物の総量１００質量部に対して、１．５～１６質量部である、請求項１又は２に記載の接着剤組成物。

【請求項４】

異方導電性を有する、請求項１～３のいずれか一項に記載の接着剤組成物。

【請求項５】

請求項１～４のいずれか一項に記載の接着剤組成物をフィルム状に形成してなる、フィルム状接着剤。

【請求項６】

請求項１～４のいずれか一項に記載の接着剤組成物、又は請求項５に記載のフィルム状接着剤を含有し、

回路電極を有する回路部材同士を、それぞれの回路部材が有する回路電極同士が電氣的に接続されるように接着するために用いられる回路接続材料。

【請求項７】

第一の回路基板の主面上に第一の回路電極が形成された第一の回路部材と、

第二の回路基板の主面上に第二の回路電極が形成され、前記第二の回路電極と前記第一の回路電極とが対向するように配置された第二の回路部材と、

前記第一の回路部材と前記第二の回路部材との間に設けられ、前記第一の回路部材と前記第二の回路部材とを電氣的に接続する接続部材と、を備え、

前記接続部材が、請求項１～４のいずれか一項に記載の接着剤組成物の硬化物である、接続体。

【請求項８】

前記第一の回路基板又は前記第二の回路基板のうちの一方がフレキシブル基板であり、他方がガラス基板である、請求項７に記載の接続体。